

飯箸ゼミ プレゼン

情報コミュニケーション学部2年 坂本貢洋

目次

- 自己紹介
- 役割
- 成果
- 反省点
- 打開策
- 活動を通して得たもの

自己紹介

坂本貢洋

情報コミュニケーション学部2年

出身：東京都新宿区

所属：JEREMY(テニス)

Woody Club(軽音楽)

趣味：散歩、アルコール、テニス



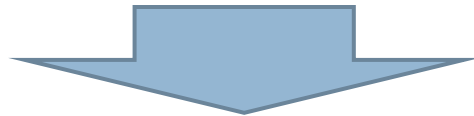
役割

□ 問題発見ゼミアンケート班

情報コミュニケーション学部2年次のゼミナール活動について調査する

□ ゼミの先生へのインタビュー

可能であれば先生方へ情コミに関する質問



□ HP班へ引継ぎ

成果

- 問題発見ゼミアンケート
 - ・前期
 - 竹中ゼミ15人&インタビュー
 - 富樫ゼミ5人

 - ・後期
 - 細野ゼミ13人&インタビュー

反省点

□ 先生方からの不信感

→いまいち趣旨が伝わりにくい。メールでアポをとるのに若干時間がかかった。

□ 活動開始の遅れ

→震災の影響によって、前期は1ヶ月遅れで始まった。またゼミの活動方針を決定するのにも時間がかかり、アンケートを何とか取れたという状況だった。

□ 時間の不足

→時間が足りなかった前期に比べて、後期は時間があったが、大学側との交渉などで難航した。

反省点

- アンケートの質問は適切だったか？
 - 望むような答えが得られなかったり、質問の取り違えなど。また前期と後期でアンケートの内容を変えてしまった。
- ゼミ内でのコミュニケーション
 - ブログ班とWEB班での意思疎通は足りていたのか？

打開策

□ 目標期限の設定

→限られた時間の中でスケジュールを立てておくべきであった。

□ アンケートを取る側の配慮をもう少し

→自分たちはアンケートの趣旨を理解しているが、先生方は全く知らない状態。先生へのメールなどの内容も考えるべきだったかも知れない……。

□ Facebookの活用

→データや現状の確認が前期に比べて大幅に改善された。ゼミ生はどう考えているか？

活動を通して得たもの

□ 飯箸先生の講義

→リーダーの役割やHTMLなど

□ グループワークの難しさ

→複数の意見がまとまることが困難。どうしても時間がかかる

□ 効果的なアンケートの作成

→改訂を重ねつつ、知りたいことを絞った

□ 様々な問題に直面した

→個人情報や大学側からの要求



ご清聴ありがとうございました